

文化と交流

第7号(2005年5月号)

発行／周防大島文化交流センター

〒742-2512 山口県大島郡周防大島町大字平野 417-11

ホームページアドレス <http://www.towatown.jp/koryu-center/koryu.htm>

電話・ファックス 0820-78-2514

図書室専用の電話 0820-78-0629

巡回展のパネルより。イワシ船を運ぶ(昭和五二年／佐連)



写真でつづる宮本常一

巡回展始まる

町教育委員会では、町内各地の皆さんに民俗学者・宮本常一について広く知っていただくために、周防大島文化交流センターで展示していた「写真でつづる宮本常一」のパネル二八枚を使った巡回展を開催しています。

小松の大島田舎美術館では、すでに四月二三日から展示を始めており、六月十三日からは西安下庄の橋総合センターで開催する予定です。

周防大島に生まれ、半世紀にわたって日本各地を歩き続けた宮本常一(一九〇七〜八一年)は、民俗学者として知られるだけでなく、離島や農山漁村の地域づくりの実践者でもありました。

今回の展示では、宮本が周防大島で過ごした少年時代から、半世紀に及ぶ旅を経て郷里で「郷土大学」を開くまでの生涯をたどり、人と仕事を紹介しています。

なお、一部会場では『学問と情熱／宮本常一』(紀伊國屋書店)のビデオ上映も実施(上映時間四五分)。大島地区、橋地区での展示終了後も、町内の社会教育施設等を引き続き巡回する予定です。

巡回展の日程

▼大島田舎美術館(小松)

・期間 五月二九日までの土曜・日曜

・時間 午前九時〜午後四時まで

▼橋総合センター(西安下庄)

・期間 六月十三日〜十九日

・時間 午前八時半〜午後六時まで

※いずれも入館無料

世界を舞台に生涯学習

エルダー・ホステル来町

国内外を旅し、その地域について学ぶ生涯学習講座を実施している「エルダー・ホステル協会」（本部・大阪府、三〇〇人）の一行二〇人が、四月十八日から二〇日までの三日間、周防大島町を訪れ、「周防大島講座」と題した学習会を開催しました。

参加者は近畿地方に住む六〇〜八〇歳の女性を中心。交流センターなど町内各地を巡り、宮本民俗学や高齢者福祉の現状、島の歴史や文化について学びました。

初日は中国新聞の前大島支局長・佐田尾信作さんが講演。宮本常一をテーマに長期取材した経験を踏まえ、自らの宮本論を展開しました。

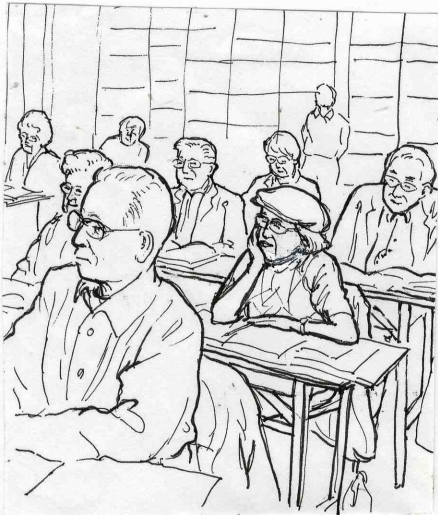
二日目は大島郡痴呆性老人を支える家族の会会長の宮崎邦子さん（和田）が講演。高齢者サロンや徘徊老人の見守りなど、地域に根ざした会員の活動について語り、参加者の熱心な質問に答えていました。

その後、長崎の農村交流伝承館（服部屋敷）で、東和地区農漁村女性連けい会議の皆さんと、茶がゆ御膳を囲んで交流。島の暮らしや食文化について語り合いました。

また、「宮本常一先生の本を読む

会」や「周防大島郷土大学」との交流会もあり、地元で宮本の学問を継承しようとする町民の姿勢に、参加者は共感を寄せていました。その他、日本ハワイ移民資料館や久賀歴史民俗資料館なども訪れ、島の歴史について理解を深めていました。

エルダー・ホステルのエルダーとは、英語で「より年配の」という意味。中高年を対象とした生涯学習講座として一九七五年に米国で発足。八六年に日本で協会が設立されました。これまで国内での学習会は約三〇〇回開催していますが、山口県内で開催したのは今回が初めて。参加者たちは『家郷の訓』など宮本の著書の舞台となった大島で学ぶことができ、感激」と喜んでいました。



『宮本常一農漁村探訪録』 好評発売中

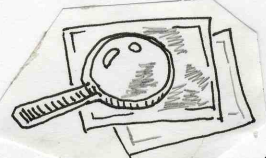
宮本常一の聞き書きノートを活字化した同書の第1巻「大阪府下漁村・漁業調査ノート」を交流センターで販売しています。

A5判 105頁で定価は1,000円。郵送料は別で、遠方からのお申し込みも受け付けています。

『宮本常一写真・日記集成』 センターで閲覧できます

今年3月に刊行された同書を、交流センターと町内各図書館で閲覧できます。

高価な本のため、館外に貸し出すことはできませんが、館内での閲覧を希望される方は、職員までお申しつけ下さい。



サツマイモを通して郷土史学ぶ

城山小で総合学習スタート



外入の城山小学校で四月十九日、五年生の児童十一人を対象とした総合学習がスタートしました。

周防大島の人口増加の切っ掛けとなった作物であるサツマイモを栽培しながら、出稼ぎ、移民など人口増加に伴う島の歴史を学ぶというもの。サツマイモ生産農家の宮本光さん（長崎）を講師に迎え、交流センターと田布施農林事務所が一年間の

授業を支援していきます。
授業の様子は、来月号の本紙でくわしくお伝えします。

